

かがやく明日のために

With You NAGANO

長野市男女共同参画情報紙「With You」は、男女共同参画社会づくりに向け、年に3回、市民編集委員が様々な視点から情報を発信しています。今回は、令和元年度優良事業者賞を受賞された高木建設株式会社様取材しました。

令和元年度 長野市男女共同参画優良事業者ご紹介

高木建設株式会社様 受賞

令和元年度は、土木・建築業を営む高木建設株式会社様を受賞しました。その取組について、常務の高木亜矢子さん、営業部課長の西沢君江さん、総務部主任の吉田京子さん、営業部の小林明日香さん、建築部の保科百花さんの5人にお話を聞きました。



令和元年度「優良事業者表彰式」

女性がいきいきと働く職場に

「女性活躍を推進しようと思っ
たきっかけを教えてください。」



高木常務

高木：業界の会議や研修に行く
と、ほとんどが男性でもっと女
性が入って来てくれたらなと感
じたのがきっかけです。
男性だけでなく、女性も採用
したいと、就職説明会には積極
的に私が行くようにしています。
「常務みずから女性の採用に力
を入れている。だから土木や建築
の技術職に女性が来てくれるの
ですね。保科さんもそうですか？」



保科さん

保科：はい、そうなんです。女
性がいると話しやすく、足が運
びやすかったです。
「保科さんは技術職ですね。仕
事のやりがいってどんなことな
りか？」
保科：現場で何も無いところか
ら大きいのがみんなの手で出
来上がっていくところにやりが
いがあります。どんどん出来て
いく姿が見られて、楽しくて仕
方ありません。
「仕事のことを友達と話をしま
すか？」
保科：「建設現場で監理の仕事
をしている」と、友達に話すと
「すごい」と言われます。

- 《優良事業者選定理由》
- これまで女性が少なかった職域に女性を登用していること。
 - 仕事と家庭(子育て、介護等)と両立しやすい休暇制度が充実していること。

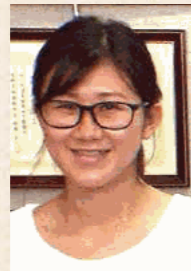


女性が働いている現場で掲げられている社旗

一緒に働いている方も優しく
接してくれます。就職活動を
している友達にも勧めたいです。
私が楽しく働いていることは友
達にも伝わっていると思います。
「目標はありますか？」
保科：弊社は、業界でも珍しく
女性の1級建築士が2名います。
私も1級建築士になりたいです。
今は2級建築士の取得を目指し
て頑張っています。
「通常の緑色の社旗の他に「ピン
ク色の社旗」があると聞きました。



高木：ひとりでも女性が活躍し
ている現場はピンク色にしたら
どうかと社長が発案しました。
「小林さんは営業担当ですが、
苦労したことはありませんか？」
小林：入札会場にはほぼ男性
しかいません。それに他社の担
当者は仕事ができそうに見えて
はじめは不安でした。
女性が場に一人いるだけで、雰
囲気を和ませることができま
す。接客を専門学校で勉強してき
たので、そのスキルを生かせる
と思います。「女性は珍しい」と名
前も覚えてもらえます。営業は
まず顔と名前を覚えてもらうこ
とから始まります。だから今は、
私だからこそできることがある
と思います。女性の強みと自分
の強みを生かして頑張っています。



小林さん

「健康経営の推進」にも積極的
に取り組まれていますね。その
ことを聞かせてください。
吉田：「健康経営の推進」は常
務が率先して取り組んでいま
す。社員のことはもちろんで
すが、社員の家族に対しても気を
配っています。
「協会けんぽ」の「ウォーキン



吉田さん

グ・ラリー」を会社全体で取り
入れるなど、一人ではなかなか
できないことを社員でチームに
なって、競いあいながら、健康
に良い事にも取り組んでいます。
「育児休業や介護休業を取得し
ている男性社員の方がいると聞
きました。そのことを聞かせて
ください。」
高木：両立に悩みながら仕事を
しているよりも、きちんと休業
制度を利用して、「仕事は仕事。
家庭は家庭。」に専念してもらっ
た方が効率的であり、安全面
でも良いと思います。建設業は危
険な現場もありますから。
「育児休業や介護休業制度など
制度を変更する時はいかがでし
たか？」

吉田：常務を中心に「制度が変
わるので皆さん活用してくださ
い」と全社員に向けて奨励したの
で、男性の社員も家庭に関わり
やすい感じになりました。
「男性の意識も変化したという
事ですか？」
西沢：就業規則が変わることに



西沢さん

「親を病院に連れていきたい
から遅刻したい」とか、「新型コ
ロナウィルスの影響で、子供の
面倒を見なくてはならないので
早退したい」と、様々な事情で
お休みを取得しています。
吉田：営業部の休暇取得率は増
えました。しかし現場の社員は
まだ難しいです。希望通りに取
得できない時もあります。

「西沢さんが入社した頃と比べ
て働き方は変わりましたか？」
西沢：会社の後押しもあり、働
き方の選択肢が多くなったと思
います。家庭の事情で仕事を諦
めなくてもよくなりました。以
前は、女性は「仕事を辞める」か
「家庭に入るか」の二つの選択し
かありませんでした。今は「仕
事をしながら家庭も大切にでき
る」という選択肢が増えて、考
え方が広がったと思います。
「保科さんは仕事と家庭について
どう考えていますか？」
保科：将来、結婚して子どもが

社員の幸福度を 上げたい

「活躍する女性が増えるために、
どのようなことが必要だと思
いますか？」
小林：女性はプライベートや仕
事など、生活環境がいろいろ変
化します。仕事から一旦離れても
戻って来られることや、在宅で
仕事ができることなどの働き続
けられる条件が必要だと思いま
す。条件が整うことで今より活
躍する女性が増えると思います。
「これから先、会社が目指してい
ることを教えてください。」
高木：まずは創業100年を迎
えることが目標です。そのため
に社員のやりがいとか幸福度を
もっと上げたいと思います。仕
事だけではなくて、ボランティア
などいろいろな経験してもら
いたいと思います。

健康でいないと幸福度も上が
りません。心と身体を管理しな
がら、仕事も家庭も大切に
創業100年を迎えたいと思
います。



高木建設の社員構成
社員82名(うち女性12名)
女性の内訳：技術職4名、営業職1名、事務職6名、
役員1名 (令和2年7月30日現在)

国際ソロプチスト長野一みず様より、
男女共同参画啓発事業のため、
●非接触式体温計
●折り畳み式パーテーション(間仕切り)
を寄贈していただきました。

お問い合わせ
長野市男女共同参画センター
〒380-0814 長野市大字鶴賀西鶴賀町1481-1
☎026-237-8303
Eメール/ danjo-c@city.nagano.lg.jp
https://www.city.nagano.nagano.jp/

